

【高知県知事賞】

発注機関名	安芸土木事務所
工 事 番 号	道改国（債）第 2-2-2 号
工 事 名	国道 493 号（北川道路）道路改築（柏木 1 号橋下部工）工事
工 事 場 所	高知県安芸郡北川村柏木
受 賞 者	有限会社 礒部組
代 表 者	礒部 英俊
現場代理人	岡嶋 聡
監理技術者	—
主任技術者	礒部 英俊



【表彰理由】

地域高規格道路阿南安芸自動車道の一部を構成する北川道路2-2工区の柏木1号橋の橋梁下部工工事である。当工事は、橋台基礎工と躯体工を2渇水期で施工するもので、施工には奈半利川を渡河する工事用道路を各年毎に設置・撤去する必要があり、限られた期間での施工を実現するための工程管理が課題であった。

工程管理は、進捗状況に加えて独自の工程目標に対する時間的余裕の可視化と達成の徹底、仮設道路の補強等の工程遅延リスクの回避に努め、余裕を持って渇水期内での施工を実現した。また、ICT活用工事として、3次元設計データを活用し、施工中の情報共有や照査による問題点の事前把握、監督職員の理解度の向上に努めるなど、最新技術を積極的に活用し、本工事の施工を優位に進めた。さらに、高校生を対象としたインターンシップや現場見学会、出前授業などを通して、学校教育と連携した建設業の魅力発信と担い手確保のための取組みにも努めている。（安芸土木事務所）

【高知県知事賞】

発注機関名	企業誘致課
工事番号	高知布師田（債）第1号
工事名	（仮称）高知布師田団地 団地整備工事
工事場所	高知県高知市布師田
受賞者	新進建設 株式会社／株式会社 大谷興産／株式会社 日東水道
代表者	新進建設 株式会社 小川 裕司／株式会社 大谷興産 大谷 倫古／株式会社 日東水道 尾立 憲治
現場代理人	中越 総
監理技術者	小松 和弘
主任技術者	佐竹 満宏／北添 修平



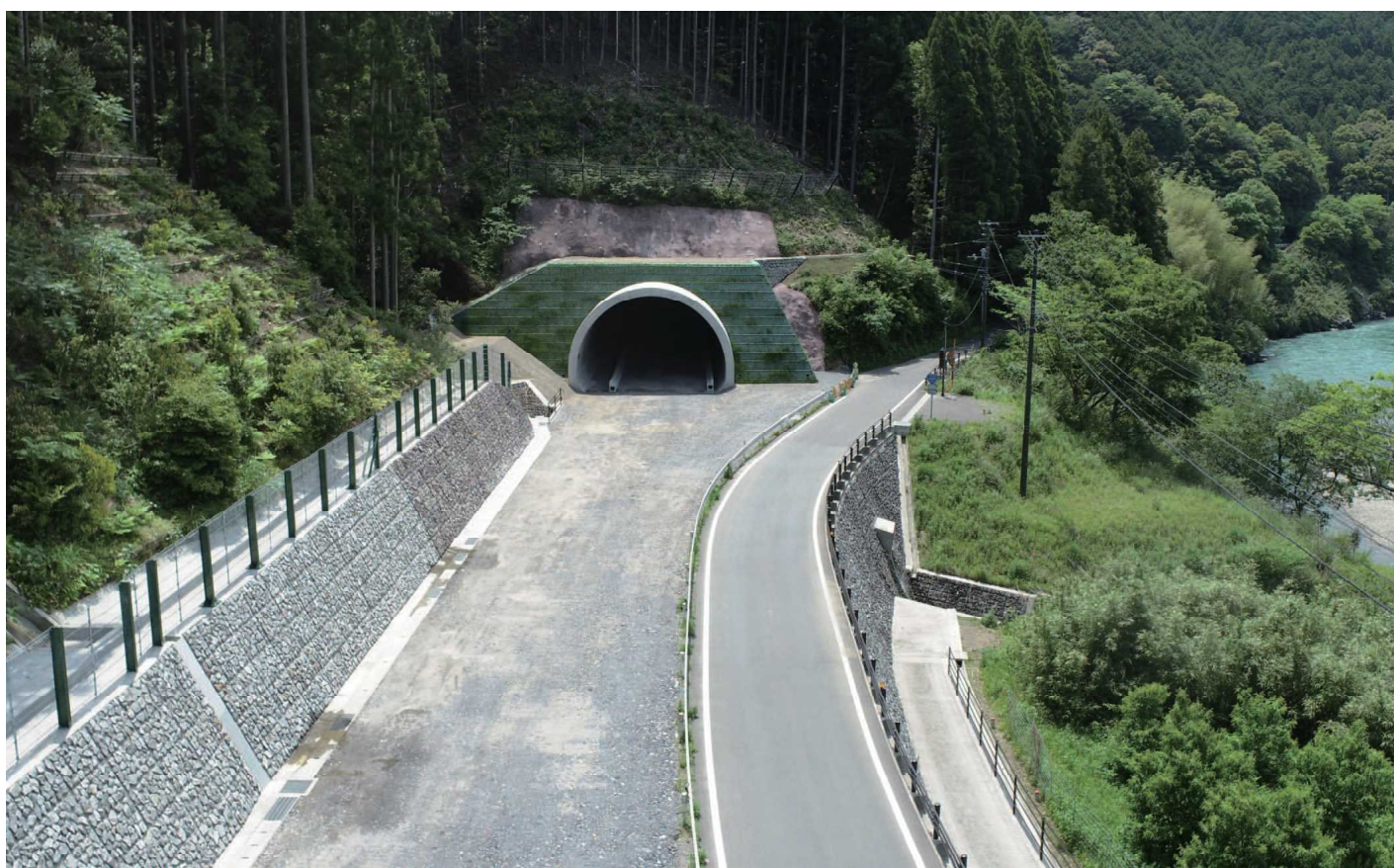
【表彰理由】

当該工事は県道北本町領石線沿いの高知市布師田地内における、開発面積約17.6haの大規模な工業団地の造成工事である。

工事と並行して実施した希少植物の保全対策の検討に時間を要し、全体工程に遅れが生じる中、ICT施工による先進的な技術の活用や、二次製品の使用を積極的に立案・施工することで工程の短縮を図り、全体工程の遅れを最小限に留めることができた。また、大型コンクリート構造物の施工において課題となるひび割れの発生に対し、補強鉄筋等の材料の追加や早期収縮低減剤の塗布により、構造物へのひび割れを抑制した。さらに、鉄筋構造物の施工の際には、透明型枠やコンクリート改質剤を使用することで、型枠内部の可視化や揺変性の向上により、コンクリート打設作業が向上し精度の高い充填が可能となり、高品質な構造物を構築することができた。（企業誘致課）

【高知県知事賞】

発注機関名	幡多土木事務所
工 事 番 号	道交国防安（改築）（債）第 8113-009-1 号
工 事 名	国道 441 号 防災・安全交付金（口屋内トンネル（I））工事
工 事 場 所	高知県四万十市西土佐中半
受 賞 者	株式会社 田邊建設／株式会社 土居建設
代 表 者	株式会社 田邊建設 田邊 一也／株式会社 土居建設 土居 三平
現場代理人	武内 洋志
監理技術者	田邊 耕一
主任技術者	土居 常平



【表彰理由】

国道441号におけるトンネル工事である。現場は、四万十市西土佐地区と四万十市中心部を結ぶ幹線道路であり、清流四万十川の観光ルートとしての唯一の路線である。本工事では坑口から230m付近に低土被り部と脆弱なメランジュ層の分布があり、掘削時の落盤、地山崩落の危険性があった。また、覆工コンクリート天端部の充填・締固め不足や打継ぎ部の乾燥収縮によるひび割れ発生といった品質確保に課題があった。

低土被り部の掘削時には、切羽から100mの水平ボーリング調査と切羽前方探査システム(DRISS)や変位計測結果を適宜実施したことから、効果的な掘削補助工法を選定でき、無事故で安全な施工であった。また、品質管理には、スライドセントルの天端部に引抜パイプレーターを設置し、確実な締固めと密充填を行い、さらにアーチ部に繊維シートを設置し、保水養生テープを覆工全面に使用し養生を行うことで良好な品質管理を実現し、遅延なく工事を完成させた。(幡多土木事務所)

【高知県知事賞】

発注機関名	安芸土木事務所
工事番号	道改国（債）第2-1号
工事名	国道493号（北川道路）道路改築（和田トンネル（Ⅱ））工事
工事場所	高知県安芸郡北川村柏木
受賞者	株式会社 三谷組
代表者	三谷 修一
現場代理人	—
監理技術者	—
主任技術者	岡部 淳



【表彰理由】

国道493号（北川道路2-2工区）道路改築工事における和田トンネル2期工事である。当トンネルは両掘り施工で、既に完成した1期工事において突発湧水や内空変位が発生した実績が伴うなか、同様の地質条件に対する克服が課題であった。

施工者自らが実施した第3者を交えた事前地質調査では破砕帯区間が推定されており、結果として実掘削時に発生した大変位に対して、インバートストラット等の早期閉合対策の提案がなされ、切羽崩壊や手戻り工事もなく工程遅延防止に努め、危険作業が伴うなか無災害で完了させた。また、長寿命化が重要視される覆工コンクリートの打設時の締固めの機械化による人力施工のばらつきを防止し入念な保水養生のもと出来栄え及び品質向上に努めた。さらに、地元小学校等を対象とした現場見学会を開催し、重機の操縦体験や防水シートへの絵描き体験を実施するなど、当道路の理解度及び建設業への関心力向上に努める工夫が見られた。（安芸土木事務所）